

国際収支統計の見直しについて

我が国の国際収支統計は、国際収支マニュアル第6版（以下「第6版」）に準拠した統計に移行することを主眼として、平成26年1月取引計上分から所要の見直しを行った。主な内容は以下のとおり。

1. 主要項目の組み替え

国際収支統計において、第5版の「投資収支」と「外貨準備増減」を統合して「金融収支」とし、第5版の「その他資本収支」を「資本移転等収支」として「経常収支」及び「金融収支」と並ぶ大項目に変更した。第5版の「資本収支」の項目は廃止となった。

2. 表記方法等の変更

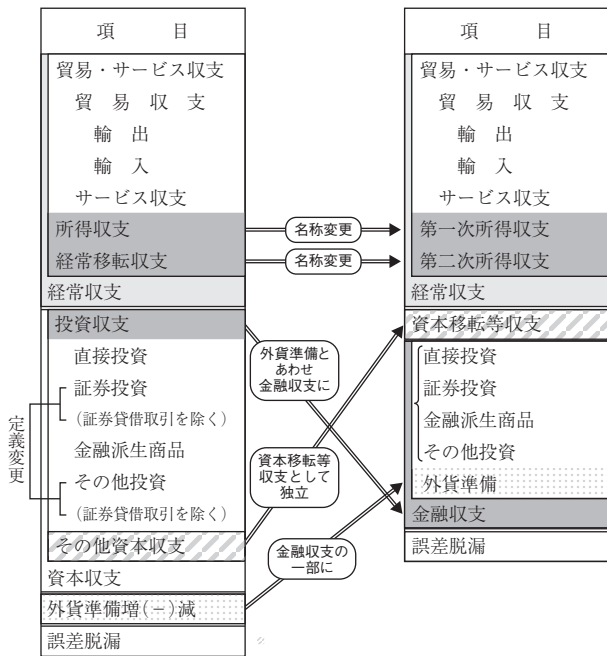
① 符号表示の変更

・国際収支統計において、第5版の「投資収支」等では、資金の流入にに着目し、流入をプラス（+）、流出をマイナス（-）としていたが、新たな「金融収支」では資産・負債の増減に着目し、資産・負債の増加をプラス（+）、減少をマイナス（-）としている。この結果、負債（対内投資）側の符号は第5版と第6版で同じであるが、資産（対外投資）側の符号が逆になっている。

② 項目名の変更

国際収支統計において、第5版の「所得収支」、「経常移転収支」を各々「第一次所得収支」、「第二次所得収支」に名称変更した。

●主要項目の組み替えと名称の変更



経常収支 + 資本収支 + 外貨準備増減 = 0

経常収支 + 資本移転等収支 - 金融収支 = 0

●符号表示の変更

		投資収支 および外貨準備増減 (第5版準拠)	金融収支 (第6版準拠)
		資産側 (対外投資)	資金流出 = 資産増加
	資金流入 = 資産減少	(+)	(-)
負債側 (対内投資)	資金流入 = 負債増加	(+)	(+)
	資金流出 = 負債減少	(-)	(-)